

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 南アルプス市立芦安小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校, 各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)

所在地 〒400-0242
山梨県南アルプス市芦安安通 335 番地

E-mail ashiyasu.es@m-alps.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 13 名 女子 14 名 合計 27 名
幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

本校は、「一人ひとりの学びを大切に『生きる力』を身に付ける芦安っ子」を学校理念としている。今年度の ESD 活動は、自然環境学習中心に ESD の実践を通して自然環境の保全と持続可能な社会のあり方について考える基礎的能力の育成を目標とした。

具体的には、森や山と人間の暮らし (中学年) 森林のはたらきと保全 (高学年) を柱に、① 森と山に関わる活動 ② 森や山を知り、自然と自分について考える活動 ③ 森林に関わる体験活動 ④ 森を守る活動を行った。

① 森と山に関わる活動

「森林学習 (事前学習)」

- 1 日時 平成 29 年 5 月 8 日 (木) 3, 4 校時
- 2 活動場所 「森林学習」(3～6 年) 芦安小学校多目的ホール
「自然探検」(1～2 年) 芦安小学校周辺及び学校林
- 3 目的 森林学習 (事前学習) を通して、郷土芦安ならびに南アルプスについて再認識し、1・2 年生の地域学習、3・4 年生の夜叉神登山、5・6 年生の栗沢山登山の事前学習として、自然学習への意欲を高めるとともに、芦安周辺をはじめとする南アルプスの自然や伝統文化等の知識を学習する。また、登山の心得や登山に対する知識や準備についても学ぶ機会とする。
- 4 内容 NPO 法人芦安ファンクラブの清水准一先生・杉山啓子先生を講師に、南アルプスの山々の自然、樹木や動物、地質等について学習をした。さらに芦安地域の伝統や文化、南アルプスとの関わりについても教えていただいた。また、登山の心得や登山に対する知識や準備についても教えていただいた。

②森や山を知り，自然と自分について考える活動

「夜叉神登山」（3，4学年児童）

- 1 日時 平成29年6月9日（金）
- 2 目的
 - ・登山等，野外活動を通して，豊かな自然を体感する。
 - ・登山等，野外活動を通して郷土芦安について再認識し，もっと知りたい，調べたいという意欲を高める。
 - ・集団行動における約束や公共のマナーを身につける。
 - ・学年を超えた集団での活動を通し，感動する心や思いやりの心・協力する心・自律心を育てる。
 - ・自然の大きさを感じ，自然と自分の関係について考える基礎的な感性を養う。
 - ・「南アルプス自然体験推進事業」の目的を意識させて活動する。
- 3 活動場所 夜叉神峠
- 4 活動を終えて
 - 天候にも恵まれ，計画通りの内容を学習することができた。
 - 事前学習では，昨年登山を経験した第4学年の児童が登山の仕方や注意点，さらに南アルプス市に伝わる夜叉神について調べたことを第3学年児童に発表するなど，体験活動をして言語力の育成や異学年の交流の場としてとらえ学習を進めることができた。また，児童が植物図鑑を見ながら，オリジナルのスタンプラリー図鑑を作成した。自分たちが事前に調べた植物を，発見したり新に知ったりすることができた。
 - 芦安ファンクラブの方々に準備をしていただき，実際に炭焼き釜体験を実際にさせてもらった。昔の人々の生活するための苦勞を，身をもって体験することができた。
 - 一人一役仕事を作ることで，自分の仕事を責任もって取り組むことができた。
 - △集中力がきれてしまうと，人の話を聞いたり，時間を意識して行動したりすることに課題がある。今後，学校生活の中でもけじめをつけることを意識させ，改善していく。
 - △同じ目的をもって行動するなかで，励まし合ったり協力し合ったりすることに課題を感じる。集団行動する場を設け，協力する力をつけていきたい。

③森林に関わる体験活動

「自然教室（栗沢山登山）」（5，6年児童）

- 1 日時
平成29年6月23日（金）～6月24日（土）1泊2日
- 2 目的
 - ・南アルプスの自然や文化とそれを取り巻く環境について学び，自然に親しみ大切にしていこうとする心情や態度を養う。
 - ・自らの力で最後まで登山をすることで，困難に耐える心身の育成を図る。
 - ・公共の場のルールやマナーを学ぶ。
 - ・集団生活を通して，人を思いやり，協力することの大切さを理解させる。
- 3 活動場所
 - 1日目 栗沢山方面 長衛小屋宿泊
 - 2日目 長衛小屋周辺散策 長衛祭（山開き）参加 長谷小学校（伊那市）交流会
- 4 行程
《1日目》
学校集合・・芦安小学校発・（ジャンボタクシー）・広河原・（市営バス）北沢峠・・長衛小屋・・出発・・仙水小屋・・仙水峠・・栗沢山（昼食）・・長衛小屋着・・入所，片づけ・・夕食・・1日のまとめ・・振り返りの会・・就寝準備・・消灯，星空観察・・・就寝

《2日目》

起床・・・レク・・・朝食・・・周辺散策①（苔，花観察）・・・絵日記記入・・・長衛祭参加・・・長谷小との交流会（昼食）・・・合唱・・・北沢峠発（観光商工課車）・・・学校着・・・解散

5 実施状況

- ・1日目は天候に恵まれ、けがもなく、全員が安全に登頂することができた。
- ・2日目の午前中は苔や花についての自然学習を行った。午後は長衛祭に参加し、合唱を披露したり、長谷小学校と交流をしたりすることができた。

6 成果と課題

- ・今年度から日程を6月下旬に設定し、長衛祭と合わせて日程を組んだ。昨年度より3週間早まったことで、事後学習の時間を十分に確保することができた。来年度もこの時期に行うことが望ましい。
- ・事前の森林学習で芦安ファンクラブの方に来ていただき、植物や地形について教えていただいた。事前学習で学んだことを、実際に目で見て肌で感じることで、ただ登山をするだけでなく、高山植物や地形、地質のことを学ぼうという意欲をもって参加することができた。
- ・登山をしなければ得られない達成感や充実感を十分に味わうこともできた。5，6年生の体力にはちょうど良い登山コースであった。しかし、足場が悪い場所を歩くことが多いため、できるだけ登山靴での参加を保護者に周知する必要がある。
- ・事前学習で歩き方や友達に対しての言葉がけについて指導したことで、当日も励まし合って登る姿を見ることができた。
- ・1日目の振り返りの会では、自分で決めためあての反省を行った。反省を班ごと話し合わせることで、1日目にできなかったことを2日目に改善しようという姿勢が見られた。係別の反省もこの会の中に入れるとよい。
- ・2日目の自然学習では、講師の先生に質問をしたり、メモをとったりと、意欲的に学ぶ姿がみられた。
- ・登山中も長衛小屋にも時計がないため、腕時計をあらかじめ持ち物に入れておいたり、教師が時間を細かく教えたりして、時間の意識のさせ方を工夫するべきであった。
- ・長衛祭の昼食時間が短く、昼食を食べきれない子が多くいたため、来年度は昼食を長衛祭が始まる前に食べるのが望ましい。

④森を守る活動

学校林整備活動（全校児童・PTA）

1 日時 平成29年9月29日（金）

2 作業内容

学校林整備（伐採，下草刈り，通路の整備，枝やゴミなどの片づけ等）

3 作業を終えて

昨年に引き続き学校林での整備作業をした。今年度も「森林を育てる」という目的で伐採，枝打ち，ゴミ拾い等をした。木々が大きく育つように，全員がのこぎりを使って細い木，曲がっている木などを伐採したり，枝打ちをしたりした。さらに，昔から行われてきた，ロープを使って木を運ぶ作業を体験をすることもできた。伐採した木や，枝打ちした枝については，この後の行事である「焼いも集会」の際に利用した。また，切り出したヒノキについては地域の方の協力の下，学校農園の看板に生まれ変わった。



2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解, 文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化, 文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input checked="" type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的, 総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍, ウェブサイト, パンフレットなど具体名)

野山の木ⅠⅡ (保育社) 歩きながら覚える仙丈ヶ岳の高山植物 (山梨日日新聞) 歩きながら覚える夜叉神峠・鳳凰三山の高山植物 (山梨日日新聞)

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め, 指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ ESD 全体計画を作成している。 ・ 持続可能な発展教育のプロジェクト内容として, 「人間と自然環境との問題に目を向け, 自然環境の保全と持続可能な社会のあり方について考える基礎的能力をもつ児童の育成」を目指して, 低学年 中学年 高学年のそれぞれに目標を設け, 生活科 総合 特活に位置付けている。 ・ 活動が終わった後の成果と課題を次年度につなげている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

・小規模校なので職員全員で教育課程にのっとり、同じ考えのもとで取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

・評価は年2回教職員アンケートを行い、学校関係者評価委員会で話し合っている。
・自然体験活動が本校の特色として根付いている。それを求めて地域外から通学している児童が多い。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

・「緑の活動発表会」や近隣の小学校との交流会で本校の自然体験活動やESD取り組みを発表した。地域に発信できたこととともに、児童が日頃行っている活動に対して、成就感を味わうことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

・NPO 法人芦安ファンクラブ 地域おこし協力隊との連携
森林についての学習の講師として、夜叉神登山、栗沢山登山のインストラクターとして、また、学校林整備のお手伝いなど様々な活動でお世話になっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

- ・近くのユネスコスクールと交流会をして本校の自然体験活動や ESD 取り組みを発表した。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒，教員，カリキュラム・教授法，学校経営，地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

- ・自然体験教室，学校林整備，南アルプス登山等を通して身近な植物の育ち方や，動物の生態に興味をもつことができた。また，動物による食害に関心をもったり，自然と人間の生活に関心をもったりした。
- ・全校の自然教室，学校林整備，3，4年生の夜叉神峠登山，5，6年生の宿泊を伴う栗沢山登山が本校の特色となっている。自然体験を求めて他地区から入学，転入する児童もいる。

（3）平成 30 年度の活動計画

平成 30 年度より芦安小中一貫型教育が始まる。ユネスコスクールとしての取組を小・中学校 9 年間を通して地域と連携しながら明確にしている。具体的には自然体験教室，学校林整備活動，南アルプスへの登山等の自然活動体験をプログラム化している。